

# 中京五流舞踊

## 輝く伝統 新味添えて

第五十八回中京五流舞踊公演(中日新聞社主催)が十二月四日、名古屋・栄の中日劇場で開かれる。レギュラーの五流に二度目の稲垣、初となる山村の二流が参加。どんな献立となるかをチェックした。(柳沢研二)

### 赤堀流

「山姥」しみじみと



赤堀加鶴繪

来月4日

◆赤堀流  
歴史ある五流でもあまり演じられることがなかった「山姥」が昼のオープンニング。家元・加鶴繪が華やかにしみじみと舞う。先代の



西川右近(左から3番目)ら西川流の人たち

振り付けに現家元が手は千雅(太夫)、章之世宗家の振り付け。家元を加えた「翁草恋種人(才蔵)、古都(女元の長女・彩夏が五流時)」「夜」は登代若、船頭、菊次郎(通人)、デビューとなり、三世藤寿に加え、五流初のあやめ(年増)、好弥代そろい踏み。出演は輝京で演じる。  
◆西川流  
(白酒売り)、まさ子扇弥、鍵節、与志葉、(芸者)、右近(大工)清寿、美実、倉鍵。夜  
◆工藤流  
現。夜の部の最後を飾る「福来恵方乗合船」  
◆工藤流  
「俄獅子」は三ろ。



工藤倉鍵と工藤寿々弥

### 工藤流

夫婦の掛け合いを

### 西川流

にぎやかに芸比べ

花柳流

京人形に注目して



(左から) 花柳貴人生、花柳朱実、花柳楽祥、花柳衛宗

藤間流

久々の「松廼羽衣」



(左から) 藤間登代廣、藤間式部、藤間勸章次

◆山村流  
三重県松阪市を中心に活動。初参加の一番は楽女が昼に「箴の源太」を素踊りで披露



山村楽女

露する。生田の合戦での梶原景季の逸話を基に遊女の口説き話へと展開する。しゃれた上方風に演じる。



稲垣舞比(奥)と稲垣友紀子

◆稲垣流  
親子で「時雨西行」

一昨年に続き二度目の参加。夜の「時雨西行」を友紀子(西行)と舞比(遊女と普賢菩薩)の親子で。五流初となる舞比は「遊女はつやつぱく、菩薩は後光が差すように演じた」。

◆花柳流  
ともにさまざまな江戸屋の「江戸風流」はの風景を踊りで表現す衛宗が初登場の楽祥とる。夜の「京人形」はの駆け引きが見もの登代廣が五流初挑戦とだ。京人形が女性の動きに変わる場面に注目

朱実(京人形)と貴人演じたい。伯了は勸生(甚五郎)の「恋」章次。夜の「習作」はなる豊富喜、豊領、登代廣が五流初挑戦とだ。京人形が女性の動きに変わる場面に注目代裕、曾乃美を率いてを。にぎやかに。

◆藤間流  
「松廼羽衣」は会と午後三時。5500、  
しては十八年ぶり、2500円。●中日劇場  
式部が天女役に初挑戦 場 電052(32  
し「きっちり」と品良く0)1888